

別表（第4の4の（13）別記様式第7号関係）

水産業強化支援事業事後評価報告書

岩手県農林水産部
水産振興課

政策目的	水産資源の持続的な利用・管理の推進	
政策目標	資源管理目標	
事業実施主体	岩手県	
実施地区名	岩手県沖合海面	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	令和4年度	令和4年度
交付金額	46,652円	
事業計画の内容	本県地先海域において、隣県漁業者間や異なる漁業種類の漁業者間のトラブル防止において、関係者の話し合いの場を設定し、漁場利用調整の実施・指導を行う。	
評価	成果目標	
	現状値	漁場利用調整・指導の実施：4回（令和4年度末時点）
	目標値	漁場利用調整・指導の実施：7回（令和4年度末）
	(1) 現状値の説明	青森県との協調操業に係る会議等に計4回出席し、本県沖合海域での漁業トラブルの防止や解決が図られた。 なお、新型コロナウイルスまん延に伴い、会議への出席や指導等が予定どおり行えず、目標値に達しなかった。
	(2) 地域への経済効果 (ハード事業のみ)	
	(3) 資源管理の取組状況等 (ハード事業のみ)	
	(4) 所見	隣県との協調操業に係る会議等の開催により、本県沖合海面での漁業トラブルの防止や課題解決等が図られた。
	(5) 評価機関の意見等	
今後の改善方向等に関する分析	漁業者間のトラブルを未然に防止し、協調操業を図るため、引き続き関係者間の話し合いの場を設定していくことが重要	

水産業強化支援事業事後評価報告書

		作成部署名 岩手県農林水産部水産振興課	
政策目的	水産資源の持続的な利用・管理の推進		
政策目標	資源管理目標	3-2 ※計画書記載の事業No.	
事業実施主体	三陸やまだ漁業協同組合		
実施地区名	岩手県下閉伊郡山田町山田地区		
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度	
	令和4年度（令和3年度繰越）	令和4年度	
交付金額	2,500,000円		
事業計画の内容	監視カメラを整備し、密漁監視体制を強化するもの。		
評価	成果目標	24時間365日監視できる体制の構築	
	現状値	密漁監視体制 365日/年、24時間/日（令和4年度末時点）	
	目標値	密漁監視体制 365日/年、24時間/日（令和4年度末）	
	(1) 現状値の説明	監視カメラの整備により、24時間365日監視できる体制が構築された。当初の計画どおりに施設が利用されており、目標を達成している。（達成率100%）	
	(2) 地域への経済効果 (ハード事業のみ)		
	(3) 資源管理の取組状況等 (ハード事業のみ)		
(4) 所見	監視カメラの整備により、密漁監視体制が強化され、漁業者にとって重要な収入源であるアワビの密漁防止に大きく寄与している。目標を達成しており、今後も施設が有効に利用されることが期待される。		
(5) 評価機関への意見等			
今後の改善方向等に関する分析	今後も継続的に密漁監視を徹底していく必要がある。		

水産業強化支援事業事後評価報告書

		作成部署名 岩手県農林水産部水産振興課	
政策目的	水産資源の持続的な利用・管理の推進		
政策目標	資源管理目標	4-2 ※計画書記載の事業No.	
事業実施主体	田老町漁業協同組合		
実施地区名	岩手県宮古市田老地区		
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度	
	令和4年度	令和4年度	
交付金額	1,555,000円		
事業計画の内容	監視カメラを整備し、密漁監視体制を強化するもの。		
評価	成果目標	24時間365日監視できる体制の構築	
	現状値	密漁監視体制 365日/年、24時間/日（令和4年度末時点）	
	目標値	密漁監視体制 365日/年、24時間/日（令和4年度末）	
	(1) 現状値の説明	監視カメラの整備により、24時間365日監視できる体制が構築された。 当初の計画どおりに施設が利用されており、目標を達成している。（達成率100%）	
	(2) 地域への経済効果 (ハード事業のみ)		
	(3) 資源管理の取組状況等 (ハード事業のみ)		
(4) 所見	監視カメラの整備により、密漁監視体制が強化され、漁業者にとって重要な収入源であるアワビの密漁防止に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に利用されることが期待される。		
(5) 評価機関への意見等			
今後の改善方向等に関する分析	今後も継続的に密漁監視を徹底していく必要がある。		

別表（第4の4の（13）別記様式第7号関係）

水産業強化支援事業事後評価報告書

岩手県農林水産部
水産振興課

政策目的	水産資源の持続的な利用・管理の推進	
政策目標	資源増養殖目標	
事業実施主体	岩手県	
実施地区名	岩泉町、野田村、花巻市	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	令和4年度	令和4年度
交付金額	1,342,000円	
事業計画の内容	サクラマス資源造成計画策定に係る資源状態調査の実施 (産卵床調査及び放流効果調査)	
評価	成果目標	
	現状値	内水面水産資源の調査（産卵床調査：8回、稚魚放流効果調査：25回）（令和4年度末時点）
	目標値	内水面水産資源の調査（産卵床調査：6回、稚魚放流効果調査：20回）（令和4年度末）
	（1）現状値の説明	内水面水産技術センターが行った産卵床調査及び稚魚放流効果調査回数の実績値
	（2）地域への経済効果 (ハード事業のみ)	
	（3）資源管理の取組状況等 (ハード事業のみ)	
	（4）所見	サクラマス資源の造成には、資源状態を把握するとともに環境の変化や種苗放流等の要因が資源に与える影響を評価し、効果的な放流手法を検討していく必要がある。令和4年度の放流効果調査により、スモルト化して降海する個体の中に放流魚が多く含まれることが明らかとなり、放流により降海する個体の増加を通してサクラマス資源の造成に寄与する可能性が示された。
（5）評価機関の意見等		
今後の改善方向等に関する分析	資源量を把握するとともに、環境の変化や種苗の放流効果等が資源に与える影響を評価し、効果的な放流手法を検討するために、今後も調査を継続する必要がある。	